

自己評価結果公表シート

尾倉幼稚園

1、本園の教育目標

- ・明るく伸び伸びとした元気な子どもを育てる。
- ・素直で思いやりのある子どもを育てる。
- ・積極的に遊びや作業に取り組む子どもを育てる。
- ・集中力のある子どもを育てる。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

教育目標に基づく指導計画の作成。
更なる活動内容の充実と各行事のブラッシュアップ
施設設備の老朽化に伴う安全点検と注意箇所の修正・工事。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
指導計画は、教育目標に基づいて常に子どもの実態を把握して立てる。	指導計画は十分に子ども達の姿を見ながらたてられている。
インフルエンザ・胃腸炎などの感染予防の為、消毒作業の徹底。	職員全体で予防意識を持っており、引き続き対応を続けていく。
園庭遊具の安全点検及び古い遊具の改修。 危険な箇所の共通認識。	園内で大きな怪我をした子もおらず、安全面でもしっかりと子ども達のフォローが出来ていた。 引き続き職員一同気を緩めずに対応していく。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について、全教職員が共通理解し、取組状況を話し合い確認することを通して、本園としての方針を明確にし今年度も実行、実践することができた。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
安全管理	園の門やフェンスなどオートロック化の安全対策強化を終える事が出来た。 新しい設備をうまく取り入れて、より安全な形を作っ て行きたいと考えています。
特別支援教育	グレーゾーンな子どもが4歳児クラスに複数在籍し ていたが専門機関と連携しながら、その子たちなりの 育ちを上手くフォローできたと感じる。来年度以降も 専門機関と連携しながら進めて行きたいと思います。
園に対する保護者のニーズの変化	年々、保護者の求めるニーズは変わってきているが、 教育的要素をしっかりと抑えながら運営をしていれ ば自ずと保護者の満足度は上がる。引き続きしかり とした教育体制の基盤を守って行きたい。

6、学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると、認められる。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。